

# FMEAとDRの上手な使い方と未然防止活動

**日時** 2016年8月31日(水) 10:30～16:30

**会場** 江東区産業会館 第2会議室 東京都江東区東陽4-5-18

**受講料** 49,980円 ※昼食・資料付

(税込) ※案内会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合1名につき47,250円

・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、計49,980円(2人目無料)です。

※大学生、教員のご参加は、1名につき受講料10,800円です。

(ただし、企業在籍者は除きます。また、2人目無料も適用外です。)

**主催** (株)R&D支援センター

定員: 30名

※満席になり次第、

募集を終了させていただきます。

**講師** 本田 陽広 氏 / (株)ワールドテック 講師

## 趣旨

近年、社会の品質意識が変化し、消費者保護の観点から市場対策費用は著しく増加している。この品質問題を分析してみると、その原因は既知のもの(再発)が多く、設計者およびデザインレビュー審議者が気づけなかったために見逃した事例が多い。これは、全社のノウハウ、失敗事例を共有化し、活用しやすい環境で十分検討すれば、設計段階で気づくことができ、未然防止が可能である事を示している。講師の元職場では、設計起因品質問題の予防のために、設計者や審議者が心配点に気づく画期的な道具を開発し、その道具を使用して、デザインレビューを実施し、効果を上げたので紹介する。設計者は各人の固有技術と設計基準などの関連技術資料に基づき設計を行うが、これらの資料は、通常、膨大な量の情報が盛り込まれており、使い勝手が悪いという問題点があった。今回開発した道具は、忙しい時でも、知りたい事が直ぐに探し出せ、最初に要点だけが直ぐ分かり直ぐ使える。設計者も審議者も、容易に抜けの無いチェックができる道具である。

## プログラム

### 1. 品質問題をなくす設計とDRの考え方

- 1-1 開発のステップと品質保証体系
- 1-2 設計業務における重要なポイント
- 1-3 源流管理(フロントローディング)設計の必要性
- 1-4 FMEAを工夫して気づく
- 1-5 FMEA辞書と仕組みの継続的改善による効果  
(設計変更の激減、事業部クレーム率の激減、重要品質問題ゼロ件達成など)

### 2. 設計不具合の反省

- 2-1 品質問題の分析
  - (1) なぜ発生したのか?
  - (2) なぜ流出したのか?
  - (3) 品質問題の発生原因と流出原因
- 2-2 心配点に気づくための仕組みづくり
  - (1) 新規点・変更点・心配点に気づく技術力の養成
  - (2) 抜けの無い心配を抽出する道具
  - (3) 気づきを促進するDRの仕組み

### 3. 未然防止の活動事例

- 3-1 気づく技術力の強化FMEA作成、チーム活動の道具
  - (1) 気づく能力を強化するFMEA辞書  
(分野別の設計留意点/故障事例/基盤技術/チェックのためのチェックシート)

- (2) 抜けを防ぐ指摘キーワード集  
(心配点(故障モード)キーワード集/ストレス(使用環境など)キーワード集)
- (3) 気づきを強化するマクロFMEA作成シート  
(Excelのマクロ機能で抜けていた要因、気づけなかった要因に気づき、抜けの無い心配点を抽出する)
- (4) まとめ
- 3-2 気づきの道具を活用したPQDR(チーム活動)の改善
  - (1) 実施計画(PQDR計画書の作成/事前準備)
  - (2) 実施方法  
(新規点・変更点の明確化/キーワード集にもとづく心配点の抜けのチェック/心配点の要因の抜けのチェック/レビューのフォロー/司会者注意事項)
  - (3) 配点に気づく道具の効果  
(キーワード1つひとつで当たると意外と指摘が出る/設計変更件数・クレーム率の激減/新人の早期育成など)

### 4. まとめ

- 4-1 経営トップの参加とトップマネジメントによるチェック
- 4-2 道具としてのFMEA辞書と仕組みとしてPQDRの継続的な改善

【質疑応答・名刺交換】

## 『FMEAとDRの上手な使い方と未然防止活動』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
案内会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。 ・お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。 ・Eメールまたは郵送でセミナー・書籍ののご案内をお送りします。 ・ご案内は(株)R&D支援センターおよびS&T出版(株)からお送りします。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

### ■お申込み方法

左記必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。お申込み後の連絡、受講証の発送、請求業務などは(株)R&D支援センターが行います。折り返し、R&D支援センターから受講証(当日ご持参下さい)、請求書、会場地図をご本人様宛てにお送り致します。お申込み後、5日以内にお手元に届かない場合は必ずR&D支援センター(TEL:03-5857-4811)へご一報下さい。

### ■お支払

請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いいたします。

### ■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、当社および主催者が、事務連絡、ご案内等に使用いたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方をご出席ください。